



# 大学経営・情報化戦略分科会

【年間活動テーマ】「大学事務の構造改革」⇒「ワークスタイル変革」  
～最初の一步を踏み出すために～

## 第2回活動報告

日時：2018年11月28日(水)10:30～17:30  
場所：富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター 浜松町  
出席者：6大学25名  
第2回研修テーマ：「働き方改革総集編：“やってない”を“やる”に変える」

### 1. 研修内容

当分科会では「大学職員の働き方改革」を実現するための「大学事務の構造改革」を目指した活動を2年にわたり行ってまいりました。昨年度は富士通のDTCの機能を活用した「ありがたい姿（未来）」の検討を手始めに、「イヤ・ムダ仕事アンケート」を活用した現状認識と改善検討を行いました。本年度は他の3分科会でも実施するなど立ち位置の異なる構成による本音ベースの討議、そして当分科会での第1回目は働き方改革にICTがどのように貢献できるのかという観点で賛助会員の皆様とともに課題や将来を見据えた方向性について議論を深めました。

これらの活動をうけ、第2回目はこれまでの活動の棚卸とこれから働き方改革を推進するための意思決定におけるトップダウン・ボトムアップの考え方や、組織におけるヒューマンコミュニケーション/役割を学びます。仕事を良くするためのモデル策定、ケーススタディーを通じ具体的な働き方改革のプランニングにも取り組みます。

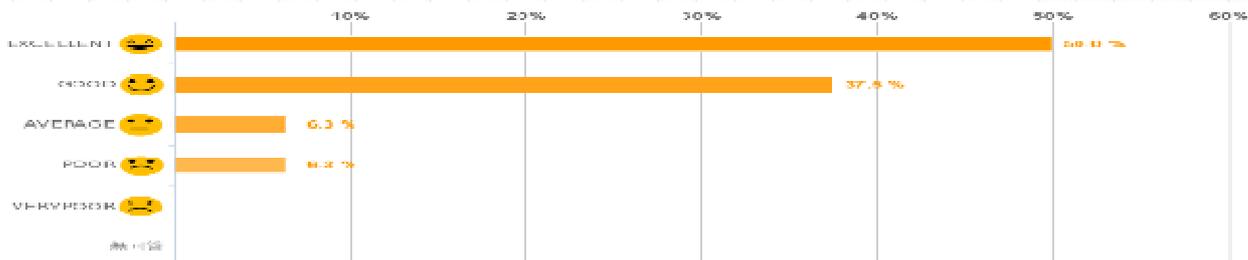
### 2. スケジュール

10:30	これまでの活動の振り返りと課題の整理	分科会幹事 福森幸久
10:50	働き方改革の進め方ご紹介	
	①外資系企業の働き方改革実践事例	シスコシステムズ合同会社 フレキシブルワークプラクティスアンバサダー 松井 みどり様
	②働き方改革推進ソリューションのご紹介	(株)富士通エフサス サービスコンダクターセンター マネージャー 新名 儀和
12:50	働き方改革の進め方「パネルディスカッション」 ～ 管理職のジレンマ/トップダウンとボトムアップ～	コーディネーター 分科会幹事 福森幸久
14:00	グループワーク	
17:00	グループ発表	
17:30	総評	分科会幹事 可児光眞
18:00	情報交換会	

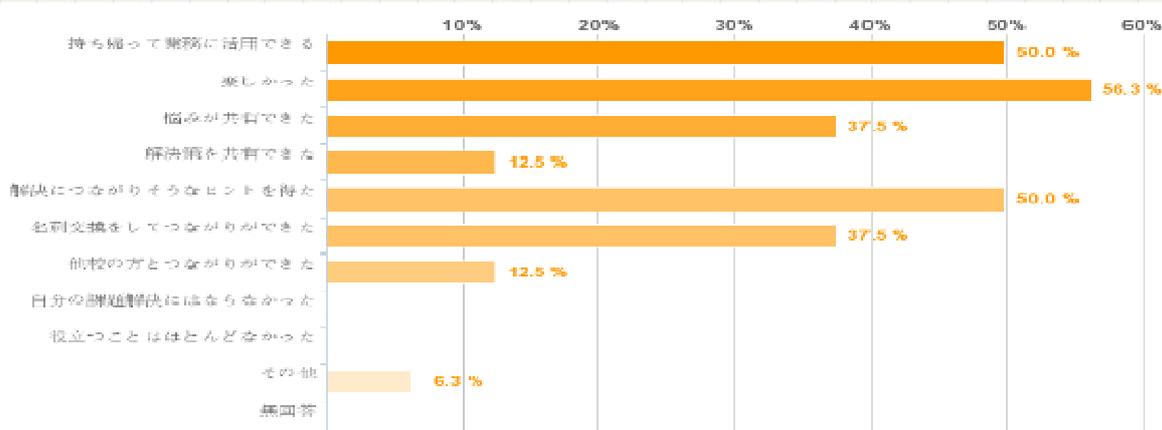


### 3. アンケート結果【回答率84%】(回収数16/19)

【Q1】今回の分科会についてお答えください。



【Q2】それはなぜか理由をお答えください(複数回答可)。



【Q3】今回の分科会に関するご意見・ご感想があればご自由にご記入ください。

- ・グループワークは自分では考えつかなかったアイデアやファシリテートできる方がいて活発な意見交換ができてよかった。
- ・日頃直接話す機会のない情報システム系の方々と話せてよかった。
- ・初めての参加でしたがとても楽しく勉強になりました。(複数回答)・シリーズ化していて、別の分科会も興味がありました。
- ・働き方改革にはいろいろな方向性がある。参加された皆様の考え(目的)を伺いたいです。
- ・メンバー視点でのエゴが多いと反省しました。(マネージャーの視点がとても勉強になりました)
- ・分かっていることが多かったが、一般企業、他の大学の話を聞けて良かった。

【Q4】今後、分科会で扱ってほしいテーマや、施設見学・事例・ワークショップなど内容についての案やご意見がありましたらご記入ください。

- ・トップ、教員も交えての分科会があればよいと思う。
- ・業務効率化、コスト削減についての討議。
- ・「働くママ」にフォーカスした働き方改革
- ・情報化戦略(分科会)としての企業訪問・人事評価のシステム化(などのテーマ)

【Q5】C S 研の運営や活動等に関するご意見やご感想がありましたらご記入ください。

- ・参加者をもう少し増やしてほしい。・大変良い設備、おもてなしありがとうございます。

### 4. 参加校 [6校15名]・賛助企業[2社4名]・参加総数25名

関西大学[1]	清泉女子大学[1]	シスコ[2]	社内 [6]
共立女子大学[6]	芝浦工業大学[1]	F S A S [2]	
産業能率大学[4]	大東文化大学[1]	FJP [1]	

### 5. 所感

- ・集客に苦慮しましたが、参加された会員の皆様からは、働き方改革の総集編としての評価は頂いたと考えます。他の分科会含め当該テーマに取組まれた会員は2年間延べ120名超となりました。福森幹事、可児幹事には2年間の推進活動お疲れさまでした。